

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター夏季号<第32号>(平成9年6月15日発行)

◇巻頭言

リーダーはビジョンと戦略をもとう

土居 貞夫(北九州・衛生)

あなたは立派なリーダーになれる人だ。いな、立派なリーダーです。

ビジョンを持ち、その戦略を考え、実行するに不退転の決意を持つことで、その結果を恐れずにその過程に最善を尽くしさえすれば。

もって、未来への道に理想を掲げてその郷土を作らなければならない。

その戦略は、確実に計画を、迅速に実行するをよしとし、その闘争が我が心に打ち勝てるだろうか、いや、打ち勝たねばならない。

さもなくば、あなたは、あなたの人生における勝利者になることが出来ない。

私は最近、他人ごととも思えぬあることに出会いました。

二人のリーダーの、互いに主張する理論と、実践の過程と行き着く先を聞いた。共に譲る気配はまったくなく話はもつれている。互いのビジョンは大同小異でも、その戦略の過程を互いに理解し合い、後日を期して譲り合うことが出来ず到頭とうとう袂を分かった。

それはそれで結構だが、どんなにいいビジョンを持ったとしても、どんなにかいい戦略を持ったとしても、その行く手の心の隅に、私利私欲に惑うことでもあれば、それはいいリーダーといえるのでしょうか。

どちらが本当のリーダーとして価値ある人生を送り、どちらが人々に幸いを与えることができるだろうか、長い月日をかけなくては分からぬでしょう。

ここにリーダーの存在感があり、人に夢と希望と理想を与えることの出来るリーダーは決して老いることはない。

あるお国のリーダーとの問答に“大統領の座に執着する理由は何か。” “わが国では大統領になりたい人は多いが、大統領になって何をするかを準備している人は少ない。私は一生かけて準備をしてきた。”と、ある新聞にのっていたが、示唆を与えるものがあるようですね。

私は、サミエル・ウルマンという人の言葉に(郷 友 1996 JUNE より転載)

“青春”と題して

人は歳月を重ねたから老いるのではない

理想を失うときに老いるのである

そうだと思います。リーダーたらんとする皆さんいつまでも老いることなく頑張りましょう。

私は常に、ある一つの理想と戦いたい。

1人でも多くの入会をお勧め下さい

† 私の提言

総合技術への取組みについて

合志 正夫 (熊本・電気・電子)

一般に、プラントを計画・設計する場合には、複数の技術者によりグループを組み設計する場合が多い。

私は、長い間、上水道浄水場の電気・計装設備の設計を担当してきた。浄水場の設計には、総合技術が必要である。土木技術者を窓口に、機械、電気・電子、建築、水質等の技術者がグループを組み、設計業務を行うのが普通である。

このシステムは、実に立派なシステムであると、私は、思っている。(社)日本技術士会九州支部のプロジェクトチームも、必要がある場合この方法を適用したらどうか?

私は、総合技術への取組みには、「グループ活動」を提言する。

総合技術への取組みには、個人プレーだけでなく、委託システムを採用したら、いい成果が得られると思う。

この私の提言に関して、私が最近経験した、実感した風力発電設備の技術内容の調査をひとつ的事例として、私が理解するのに困ったことを、以下述べてみる。

1. 委託の内容について

私は、研究態度に対する考え方を拡げて、必要な事項は、これを私の専門部門以外の技術士の方に依頼することとする。

(1)ナセルの内部調査について (ひとつの例)

- ・ナセル内部の機構学的調査については、当方から委託をお願いする方は、成るべく九州支部の第一部会、機械部門の技術士の方に、お願いするようとする。
- ・ナセル内部の機構学的図面または写真をお渡しする。部品の数は20数点ある。この部品の構成、作動状況等をレポート用紙に数枚に記述して頂く。

(2)「ティータドハブ」について (ひとつの例)

- ・プロペラの理論は、航空工学の分野ではなかろうかと、私は思っている。技術士会のなかには、航空部門の技術士は少ないと、私が身近におつき合いしているなかには、航空部門の技術士がおられないで、このことも九州支部機械部門の技術士の方にお願いしようかと考えている。
- ・ティータドハブは、これによりロータに加わる突風や大気の乱流による変動空気圧をかわす緩衝効果をロータに与える機構である。
- ・ティータドハブに関するプロペラの軸の根元の部分は、専門書、文献などを見ても、はっきりしないので、ティータドハブの構造とその運動理論についての解説(レポート用紙、数枚)して頂くようとする。

(次ページにつづく)

(私の提言のつづき)

2. 委託費について（ひとつの案）

技術内容の調査に関する委託費については、委託者が被委託者に当然委託費を支払うべきであると考えられる。委託者は、研究費のなかから予算措置を講じておく必要がある。その金額については、その都度、双方の打合せにより決定するようにしたら如何かと、私はこう思う。

以上（1）、（2）項は、私が熊本技術センターの業務内容の一環として、風力発電設備の技術内容について調査したことを一つの例として記述した。

個人プレーでなく、グループ活動についての私の提言について、読者のご意見、ご批判を頂くことができれば、幸いだと思っております。

日本技術士会近況

◎平成8年度 第3回支部長会議報告 水上信照（九州支部長）

1)日 時: 平成9年3月13日(木) 14:00~17:30

2)場 所: 新潟市

(北陸支部の技術センタービル)

3)担 当: 北陸支部（中山支部長）

4)出席者: 本部; 杉田、鈴木、館谷副会長、
保坂専務理事、樋口センター長
支部; 佐々木(北海道)、北松(東北)
中川(中部)、森川(近畿)、秦(中・
四国)、水上(九州)

5)議事内容

①政策委員会で検討される、「21世紀に
向けての技術士会の在り方」のその後の
経過について(北海道、中部)

内容: 現在3ヶ月集中審議実施中で、
特に①定款改正、②会の制度の
問題、③会の英文名称、等につ
いて次回理事会に提出する予定。

②支部と支部関連団体との事務所のあり方
等について

結論: 技術士国家試験を各支部の協力
で実施しているが、関連団体で
行っている受験対策講座等で受
験者等に誤解されないような処
置として、基本的には、支部、
関連団体の事務所は別々が望ま
しいが、現状では、各支部共、

不可能であるので看板、電話は
別々にし、事務員（1人）がそ
の対応を使い分けることとする。

③支部交付金の検討について

内容: 交付金対象会員数が、前年度完
納会員となっているが、当該年
度会費納入者とすることを要望
したが、本部において検討する。

④技術士補対策として、指導技術士、研修
方法、待遇等の改善について。

内容: 指導技術士の支部間相互交流等
を実施することとする。研修に
ついては、各支部で積極的に実
施する。待遇については、RCCM
の例があるので、今後本部に於
いても検討する。

⑤機関紙「技術士」の全国大会案内の折込
料は支部負担を、本部にて負担してほ
しい。

⑥技術士第二次試験関連事項の要望につ
いて。

内容: a) 試験関連の答案用紙等の配達
を現在、事務局宛に付、2次
輸送となっている。
前日午後、大学試験本部に直
送することとする。

b) 筆記試験合格者名簿は全国版
のみであるが、今後は試験地
別も送付することとする。

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

行事・会合などの報告

◎平成8年度会計監査

◇日時 平成9年4月19日

◇場所 商工会議所

◇講評

監査委員から次の様な講評があった。

①帳票類の整理、金銭の出納については、全く問題はない。

②平成7年度に比べて、次期繰越金が大幅に減となっている。従って平成9年度の予算収支計画にあたっては、財政のあり方を再検討の必要がある。

③そのためには、政策委員会(帆足委員長)で今後の技術士会、センターのあり方を、組織並びに財務の両面から充分検討し、その提言にもとづいて実施すべきである。

◎平成8年度第2回合同役員会

◇日時 平成9年4月26日

◇場所 福岡商工会議所

◇打合せ要旨

①5月31日の定時総会に提案する議案について協議した。

・平成8年度の会計監査報告の中で、完戸監事から、(1)平成9年度に繰越す金額が前年度比でかなり少なくなっている。平成9年度以降は緊縮財政の取組みについて十分留意する必要がある。

・今後の技術士会並びにセンターの運営については、政策特別委員会の提言を受けて、執行部は対処されたいとの報告があった。

②5月10日に臨時政策特別委員会を開催し平成9年度事業計画並びに予算(案)について検討し、その提言を総会資料に盛り込む。

③全国大会予算は、別途特別会計として処遇する。

④5月20日までに、各地区の代表幹事並びに幹事、理事名を事務局宛連絡する。

⑤総会各議案終了後、支部長選挙を行う。

⑥センター規約改正

育成委員会を普及啓発委員会に名称変更／

する。

⑦育成研究会対策特別委員会(帆足委員長)を設置する。

◎平成9年度(第32回)定時総会

◇日時 平成9年5月31日(土)13:00~16:30

◇場所 福岡商工会議所 605号室

【出席状況】

(1)支部会員数 350名 (2)センター会員数 852名

出席会員数 106名

出席会員数 135名

委任状による

委任状による

会員数 137名

会員数 402名

議題

・第1号議案 平成8年度会務及び事業報告について

・第2号議案 平成8年度収支決算及び監査報告について

・第3号議案 平成9年度事業計画(案)について

・第4号議案 平成9年度収支予算(案)について

・第5号議案 その他

・第6号議案 役員改選について
選挙管理委員会委員長(黒岩代表幹事)から支部長当選者発表

新支部長 川崎迪一(建設)

新九州地方技術士センター会長

川野宏平(農業)

(川崎支部長よりの指名で就任)

懇親会 17:00~18:30

◎第24回技術士全国大会

◆準備委員会(第1回)

平成8年6月29日

(打合せ要旨)

①開催日時

平成9年10月15日(水)

大会式典、記念講演、分科会、

記念パーティ

②開催場所

福岡市

③大会テーマ (次ページにつづく)

(支部センター行事報告つづき)

◆準備委員会(第2回)

平成8年8月26日

(打合せ要旨)

①開催会場

ホテルニューオータニ博多

②記念講演

西島伊三雄氏

◆準備委員会(第3回)

平成8年9月14日

(打合せ要旨)

①大会テーマ

「飛翔21」

新世紀の地域づくり／

アジアへのかけはし

②分科会テーマ

第1分科会／アジアへのメッセージ

第2分科会／安全・快適・ゆとりの地域
づくり

第3分科会／種子島から宇宙へ

第4分科会／地域をまもるテクノロジー
ポスターセッション

◆第1回実行委員会

平成9年2月15日

(打合せ要旨)

①実行委員会として正式に発足する。

②総務・分科会・記念誌・研修見学・財務
各委員会の業務分担確認

③細部については委員長会議で協議する。

[※2月26日委員長会議(第1回)開催]

◆臨時実行委員会

平成9年3月29日

(打合せ要旨)

①4月24日開催の“火山災害防災セミナー”をイベントとして実施する。

②記念品、記念パーティでのイベント、分科会コーディネーター・パネラー、基調
講演者等につき協議

◆委員長会議(第2回)

平成9年5月2日(金) 18:00~21:00

福岡市赤煉瓦文化会館(2F会議室)

福岡市中央区天神1-15-30

(打合せ事項)

①各委員会の作業状況報告

②各委員会スケジュールの確認

③その他

◆第2回実行委員会

平成9年5月17日(土) 13:00~16:00

博多第一ホテル

(打合せ事項)

①各委員会の作業進捗状況について

②大会実施要領(案)について

③その他

◆試験管理委員会

(委員長 斎藤健男)

平成9年度技術士第二次試験受験申込状況

(建設) 筆記試験日 8月27日

(その他部門) " 8月28日

技術部門	福岡		全国	
	平成9年	平成8年	平成9年	平成8年
1. 機械	47	51	836	866
2. 船舶	3	1	9	11
3. 航空・宇宙	0	0	28	23
4. 電気・電子	51	49	1,564	1,593
5. 化学	7	8	204	191
6. 繊維	1	1	82	82
7. 金属	4	3	139	142
8. 資源工学	1	1	26	36
9. 建設	1,562	1,411	18,182	16,799
10. 水道	153	145	1,874	1,791
11. 築工学	52	44	869	842
12. 農業	134	96	990	834
13. 林業	20	21	200	177
14. 水産	17	16	181	169
15. 総合工学	8	13	242	264
16. 情報工学	9	12	559	524
17. 応用理学	133	134	1,170	1,144
18. 生物工学	1	0	32	28
19. 環境	46	49	607	651
計	2,249	2,055	27,794	26,167

◇対前年(全国)

建設	1,383増	108.2%
その他部門	244増	102.6%
計	1,627増	104.3%

◇対前年(福岡)

建設	151増	110.7%
その他部門	43増	93.7%
計	194増	109.4%

(次ページにつづく)

(支部センター行事報告 つづき)

◇**政策委員会** (委員長 帆足建八)

政策委員会で討議の結果、次の通り支部長宛に答申書が提出された。

平成9年5月15日

水上 信照 支部長 殿

政策委員長 帆足 建八

先の合同役員会(平成4月26日)におきまして、平成9年度事業計画に政策委員会の意見を反映させるべきではないかと云う事が論議されましたので、下記により政策委員会を開催致しました。中間的な意見ではありますが、財政的にも本支部は危機的状況にあることに鑑み、以下のとおり答申致します。

記

- ・政策委員会 第2回
- ・日 時 平成9年5月10日 13:00~16:30
- ・場 所 セントラルホテルフカオカ
- ・出 席 者 帆足委員長他15名
- ・答申内容

◎事業計画(案)について訂正要望

- (2)会員増強を現会員全員で一致協力して進める。
- (10)技術士会入会の動機となる様な魅力ある研修会等を企画する。

追加

◎財政改善策について

- (1)センター会員の増加目標を200人とする。
- (2)賛助会員の増加目標を75口とする。

尚、具体的には別紙 技術士会員・センター会員増加アクションプランによる。
政策委員会として今回は、平成9年度事業計画、事業予算に関する部分について
論議致しました。

追記:センター会員200の内訳

(コンサルタント関係 130人、ゼネコン関係 50人、その他 20人)

技術士会員・センター会員増加アクションプラン

(1) 技術士会入会の動機づけ

1. 魅力ある技術士会にする。
2. 技術士会に入会することが、技術士の地位の向上に連ながり、かつ社会的にも技術力向上に熱心である会社である風潮を造る。
3. 技術士会入会率の高いところの企業を重視する様、発注者に働きかける。
4. 技術士会入会者の再就職等積極的に行い、個人的にも利点がある会とする。

(2) 具体的な行動目標

1. コンサルタント会社(大手・九州大手) 90%以上の加入率にする。
" (中小) 90% "

(次ページにつづく)

(支部センター行事報告 つづき)

2. ゼネコン：センター会員として90%以上の加入率にする。
3. 官 庁：管理職以上の方にセンター会員として入会。
4. その 他：それぞれの専門分野に適した方策による会員増加。
5. 対象とする部門：第2、第4、第5部門のみとする。

(3) 勧誘責任者の確定方式

各部会長と地区代表幹事と協議して勧誘責任者を決める（6月中）

(4) 会員増加月間（7月～9月）を設け、徹底した勧誘を行い結果を10月に纏める。

(5) 会員増加に貢献したグループ又は個人を九州支部として表彰する。

(6) 入会動機付の具体策

- (1)-1 コンサルタントを始めとした技術士に、本当に役立つ講習会・セミナーを実施する。

例) 技術士実力向上基礎講座・講師陣並びに内容のレベルアップ

- (1)-2 名刺に日本技術士会会員と明示する。

- (1)-3 入会率の高い会社、会員の多い会社を表彰する。

- (1)-4 会員名簿に入会者の多い会社ベスト50・入会率80%以上の会社を印刷し、その協力度を公表する。

- (1)-5 官庁センター会員等と連係して、技術士とのみ印刷している者について、技術士会加入の有無を確認して頂く、技術士会の組織を通して技術士の実力向上に官民一体となり努力する。

- (1)-6 各部会長が指名した者を担当者として会員の再就業務を行うとともに、賛助会員へ優先的な斡旋を行う。

- (1)-7 入会勧誘パンフレットの作成（6月中）。

◇火山災害防災セミナー開催さる◇

甲斐忠義（事業委員長）

第24回技術士全国大会のプレイベントとしての第2回セミナーが4月24日（木）福岡市中央区の電気ホールで、建設省九州地方建設局、長崎県の後援さらに建設コンサルタント協会等9団体の協賛を得て参加者数750名という大盛況のうちに開催された。

講師陣は、建設省砂防課長の池谷浩氏が土石流、火碎流、火山泥流についての工学的説明をし、雲仙普賢岳や世界の火山災害の例をスライドを用いながら危機管理のあり方等話をされた。ついで建設省砂防部土石・火山流対策官（前建設省雲仙復興工事事務所長）松井宗広氏が復興のための防災事業の概要・火碎流到達区域内での作業中の避難シミュレーションの実施内容、建設省の試験フィールド制度による無人化施工について話をされた。無人化施工の出来高管理にGPSや光波自動追尾システム導入など興味深いものであった。最後は、前島原市長鐘ヶ江管一さんの「普賢鳴りやまず」と題しての講演であった。土石流、火碎流に対する警戒区域の設定に伴う住民の暮らしや大火碎流発生による多くの犠牲者等当時の市長としての苦悩を切々と語り、復興に向けて全精力を傾注しての国土庁や官邸との交渉など披露された。そして今も被災遺族のために途に支援活動をされているとお聞きし頭が下がる思いで一杯であった。

今回の総括とりしきりは、第2部会長・政策委員長の帆足建八氏で建設本省、長崎県の講演とりつけや各協賛団体挨拶、講師との出演交渉など休日なしでセミナー開催を寸分のくるいもなく成功裡に導いた。さらに菊地九州地方建設局長も挨拶で敬意を表しておられた現実に当会場の火災に対する危機管理としての避難誘導などの説明は、危機管理セミナーにぴったりであった。

当セミナー開催に準備の段階から献身的に取組んでいただいた会員の皆様を始め古賀事務局長には特にお礼を述べさせていただきます。

◇雲仙普賢岳防災対策工事見学会報告◇

吉竹正致（福岡・建設）

平成9年4月25日、日本技術士会九州支部主催の技術研修セミナー「世界の火山災害と雲仙普賢岳の体験」の一貫として、現地見学会が催されました。

150名が大型バス3台に分乗して午前8時に福岡市を出発し、島原市までの間を往復する日帰りの行程です。

車中では、バスガイド嬢の土地案内を聞く傍ら、（株）フジタの企画開発責任者の方に、無人の大型トラックとバックホウが連携した施工のシステムをはじめ、繰り返し発生する火碎流や土石流のビデオ映写とその解説をしていただきました。

やがて、少し霞がかかった普賢岳が見えはじめ、だんだん迫ってきて、昼前に島原市に着き、直ぐに昼食です。昼後、建設省雲仙復興工事事務所の皆様に案内いただき、水無川1号砂防ダム、左岸袖堤上に行き、同所々長をはじめ、大成建設（株）所長の方々に、施工現場の説明を伺いました。

雲仙普賢岳の火碎流は、高温、高圧のガスを包含する溶岩ドームが崩壊するとき自爆し、400°Cに達する熱雲を伴って、巨礫が時速70kmの速さで山腹をかけ下って来るということです。火碎流のため、流路にあった樹木は全て失われ、土石流の元凶といえる火山碎屑物が覆っていました。水無川1号砂防ダムは、完成すると計画貯砂量、約100万m³、堤長870m、堤高14.9mの日本一長いスーパーダムになるそうです。

既に、CSG工法（Cemented Sand and Gravel）で施工された左岸袖部は、植生等の環境整備も完成していて、眼下の広大な河床部で、RCC工法（Roller Compacted Concrete）による打設が始まった段階でした。バックホウによる土砂型枠設置、ダンプでコンクリートを運び、ブルドーザーで敷き均し、振動ローラーで転圧する等が移動操作車の中から遠隔操縦されています。遠隔操縦がそれほど熟練を要せず、精度も良いというのは意外でした。こんなところに、テレビゲームの遊びが役立つとは！

見学時間は1時間でしたが、前日のセミナーとバス中のガイダンスで、予備知識を得たこともあります。施工内容を良く理解出来た気がします。現場見学の良い点は、細部を確認出来ることもありますが、現場で大局をとらえ得ることではないかと思います。

目前の山腹に火碎流の熱雲が湧き上がって迫る様や、岩石を浮かべしづきを上げる土石流の像を描き、危機管理の難しさを想いました。

しかし、いくら荒れてはいても、名勝雲仙普賢岳はかけがえのない資源だと云えます。

帰途は、島原外港や諫早駅で部分解散しながら、予定通り午後6時過ぎに福岡市に帰着しました。最後に、忙しい中、説明、案内等快くお世話いただいた皆様に深く感謝申し上げ、見学会の報告とします。

◎YCE福岡5周年記念講演会＆パーティのご案内

◆日時 平成9年6月28日(土)15:00~19:00

◆会場 福岡東映ホテル TEL:092-524-2121

福岡市中央区高砂1丁目1-23

(九電ビル南側渡辺通り1丁目バス停前)

◆会費 6,000円

(講演会費1,000円、パーティ費用5,000円)

◆スケジュール

講演会 15:00~17:00

テーマ 「環境とエネルギー」

講 師

○(財)日本環境衛生センター

西日本支局環境工学部

業務企画課長 大澤正明氏／

○九州電力(株) 本店広報部

原子力広報企画担当課長

森 秀文氏

懇親パーティ 17:00~19:00

◆定員 約80名

◆参加申し込み

参加希望の方は氏名、所属、連絡先住所、電話番号を明記し、6月20日(金)までにFAXで下記までご送付願います。

◆申し込み・問い合わせ先

YCE福岡事務局

九州電技開発(株) 釜下英巳

(FAX:092-281-5399, TEL:092-281-0936)

総務委員会

◇平成9～10年度九州支部および技術士センター役員

平成9年5月31日に行われました第32回九州地区総会で、平成9～10年度の(社)日本技術士会九州支部および九州地方技術士センターの役員が決まりました。それぞれの氏名、分担業務は次の通りです。

九州支部役員

支 部 長 川崎 迪一 (建設)
副 支 部 長 帆足 建八 (建設)
" 新城 精一 (建設)

九州技術士センター役員

会 長 川野 宏平 (農業)
副会長 重富 秀雄 (経営工学)
" 笠木 直行 (建設)

総務委員長 田中 穂治 (経営工学)
試験管理委員長 斎藤 健男 (建設)
事業委員長 甲斐 忠義 (建設)
普及啓発委員長 光岡 豊 (建設)
研修委員長 町田 貞徳 (電気・電子)
活性化委員長 斎藤 清美 (衛生工学)

技術士会九州支部各地区の代表幹事は次の通りです。

福岡地区 笠木 直行 (建設)
北九州地区 泉館 昭雄 (電気・電子)
佐賀県全域 藤永 正弘 (建設)
長崎県全域 永濱 伸也 (応用理学)
熊本県全域 青山 次則 (建設)
大分県全域 川野 宏平 (農業)
宮崎県全域 新城 精一 (建設)
鹿児島県全域 黒岩 郁夫 (農業)

研修委員会

◇ 第一部会技術研修会報告(平成8年度第2回)

山谷 三郎(第一部会長 福岡 機械)

平成9年2月8日(土)午後1時30分より午後5時まで、21名の諸先生の参加を得て、第一部会の平成8年度行事として第2回目の技術研修会を開催しました。その講演の概要を下記に述べます。

第一番目は、「CONECT '96 建設機械、及び新工法展示会より」と題して、技術士(機械)野見山益雄先生の御講演でした。その概要是、OHPによる説明を交えて最新建設機械の機構、性能と特徴上の説明と、ビデオによる建設機械の特徴ある建設機械工法の解説がありました。その主なものを挙げると、三菱「アスファルトフィニィシャー」、小松「コンクリーガラ」処理機と小断面深礎掘削機、DJM(ドライ・ジェット・ミキシン工法)、「ローハイド」工法等であり。又ビデオでは、古川機械金属(株)、コトブキ技研工業(株)、大昌建設(株)、オノデラ製作所(株)等の「ホイルローダー」を含む建設土木諸機械の紹介でした。更に「ショベルバケット」の容量計算法や平成7年度建設機械生産額は1兆4千億円を超えるとの説明があり、「建設新報」(週刊)雑誌も多数配布されました。

第二番目は、「電動機応用開発製品こぼれ話」と題して、技術士(機械)黒江浩先生の御講演でした。先生の三菱電機在職中における新製品開発に際して、アイデアから設計、試作、商品化、販売に至る迄の苦心談と実現化に向けての情報収集の在り方等について、非常にヒントになる有益な講演をOHPを交えての説明でした。先生自ら開発された①池水中掃除機、②塵芥処理機、③永久磁石式耐圧防爆モータ、④飲料水の製造方法、⑤ごみ・油回収装置等実例と成功・失敗要因グラフを交えて貴重な体験談の説明を得ました。更に先生は韓国、東南アジア、国内にわたって発表会をされています。終わってホテル食堂にて、希望有志による懇談会で談笑の花を咲かせました。

総務委員会

別記の通り、定時総会で日本技術士会九州支部・九州地方技術士センターの執行部の顔触れが決まりました。

『新しい酒は、新しい皮袋に』

皆さんの意見を聞きながら、会をより魅力あるものにして行きたいと思います。

例えば、「インターネット」を利用して技術士会九州支部を情報の発信基地とすると共に、会員諸兄の要望に応えられるよう、官公庁や地方自治体の発する最新情報の受信基地にするのも一つの方策ではないでしょうか。

ぜひ、皆さんのご支援とご協力をお願いします。

◇中国・大連とインドネシア・ジャカルタ雑感

江畠 健一（北九州 応用理学）

【はじめに】

年初来、1月と3月は各々半月間中国大連に、中の2月は10日間インドネシア ジャカルタにと、東奔西走ならぬ南奔北走の3ヶ月でした。何れも環境関連の調査行で、大連では西日本工業俱楽部環境専門委員会の事業として、発酵法によるアルコール製造会社の排液処理設備の基本設計のための現地調査を行い、インドネシアでは財北九州技術協力協会(KITA)の事業で、東京の㈱エックス都市研究所との共同受注による、環境庁の環境保全企画推進調査に関わる資料集めを行いました。

【大連にて】

公害対策 北九州市との交流の歴史は古く公害の現状についても、既に多くの方が語っておられます。一口で言えば、塵芥に満ちた河川やスモッグで曇った空。一昔前の北九州を思い起こさせる風景です。

我国の場合、高度経済成長のつけとして公害問題を惹起しました。即ち、環境保全に配慮の無い大型設備の相次ぐ稼動と、機能重視の新素材開発競争が引き起こしたものでした。思考基盤として、地球の環境容量に対しての過信がありました。

大連の公害は、単純にこうした我国の轍を踏んでいるのではなく、設備の老朽化、換言すれば老朽設備を使わざるを得ない経済環境と、環境保全に関わる社会システム未整備に起因していると思われます。

今回調査したアルコール製造企業も、昭和一桁代に日本の実業家により設立されたもので、古い設備をよくここまで使っているものと感心しました。生産効率、品質の面でも企業の競争力を欠き、この企業も経営悪化を來したようです。本来ならば廃液処理設備よりも製造設備の買う築を勧めたいところでした。

見学した鉄道車両製造会社や漁業会社等、景気のよい大企業もありましたが、数の多い中小企業は大なり小なりこのような状態であると思います。収益向上と公害対策と言う難題を、同時に克服しなければなりません。

行政の指導 廃液処理を産廃処理と捉えるのではなく、畜用飼料製造の原料と言う考え方で推進します。公害防止に対する責任意識がまだ希薄な企業に対して、廃液処理施設を設置させる方策として、飼料製造と言う経営者にとって魅力のある事業を組み合わせることで、環境保全への道が開かれました。

技術交流 大連の冬場は気温が氷点下に下がるので、活性汚泥処理は無理だと言う先入観が企業や研究機関の技術者にありました。後日大連の下水処理場を見学すると、活性汚泥施設が立派に稼動しており、冬場でもトラブル無く操業しているとのことでした。要は地域内の技術交流・情報交換が不足しているように思いました。国際技術交流も重要だが国内の技術交流を盛んにすることが、技術レベルの向上に必要であると思われました。

感傷 市の中心部を外れ、工場地帯にあるホテルの周りを散歩する時、年代柄戦時中の出征兵士の心情に想いを馳せました。真冬、葉を落とした並木の両側に続く赤茶けた煉瓦塀、セピア色の写真の風景が似合う満蒙の地といった雰囲気の中では「此處はお国の何百里」とか、「赤い夕日に照らされて」と言った歌の一節が脳裏を掠めました。現代では福岡を飛び立てば僅か一時間半そこそこで着く距離ですが、その昔はどれだけ望郷の念にとらわれたかと思うと、万感胸に迫るものがありました。

伝えられる旧日本軍の行為には肩身の狭い想いがありますが、旧満鉄の遺構は大きく、右側通行の社会で、鉄道だけは日本と同じ左側通行であるのを見て、先人の偉業に救われる思いがしました。

【インドネシア】

資料集め 環境に関する新しいデータと情報を求めて、現地に詳しいコ・パートナー(㈱エックス都市研究所)の杉本氏に同伴し、主として行政機関や各種組織団体を訪問しました。統計資料や調査報告書等、文書化が進んでいて、かなり公開されていると言う印象を受けました。資料整備には、諸外国関係機関の協力。援助に負うところが大きいようです。

唯、これらドキュメント類は集大成されていないので、余程現地に詳しくなければ所在を捜し当てるのは不可能と思われます。

地球の宝庫 地下資源の種類の多さ、特異な生物分布で、まさに資源の宝庫と言えます。また、島嶼国家、海峡国家として地勢学的に重要な場所に位置しています。国土面積は我国より大きく、人口も近々2億人を超えるとし、順位もアメリカに次いで世界4位を占めています。今回の訪問で此の国の存在の大きさに認識を新たにしました。

集権政治 ジャワ島、特にジャカルタへの権限集中度が大きいので、地方の反発も大きく、資源分布が広範囲なだけに、絶えず地方が分離独立する危機をはらんでいます。軍事力の行使、強権的な政治もやむを得ない気がしました。同じ島国でも、日本のように大きくまとまり、单一民族で構成される国家に住んでいては理解出来ない面を感じました。

中国人街 実業界の実権を握っているのは華僑のようですが、お隣のシンガポールとは違って、表面的には抑えられているようです。例えば、ジャカルタ市内の中国人街では、未だに中国語の看板が禁じられて、TVに中国語のスーパーインポーズが入るようになったのも極く最近のようです。

治安 ジャカルタ郊外チビノンにある陸水学の研究所(LIPI)に、JICAのエキスパートとして(㈱吸收環境管理協会から派遣されている内田唯史氏(技術士)を訪ねました。富士山に似た小さな山の麓の広大な敷地に、研究所の瀟洒な建物が点在していますが、夜間武装強盗集団に襲われ、襲撃の名残りに破壊された金庫ががらんとした部屋に放置されたままになっていました。

ホテルでチェックイン時に渡された「御確認事項」カードの裏に「お客様への重要なお知らせ」として、置き引き、ひったくり、外出先からホテルの帰館途中のタクシー強盗等、事例として詳しく書かれていました。

実際、ホテルで合流した(㈱北九州国際技術協会(KITA)のY課長が、近くの路上でタックルされると言うことがありました。久しぶりに対面した前記内田氏は、立派な髪を蓄え、以前のイメージとだぶらせるのに暫く時間が掛かりました。現地人とのコミュニケーションを良くしようと、同化に努めておられる努力の現れと、一つには風貌上外国人(日本人)なるが故の危機に会うことを避ける策でもあるとのことでした。

【終わりに】

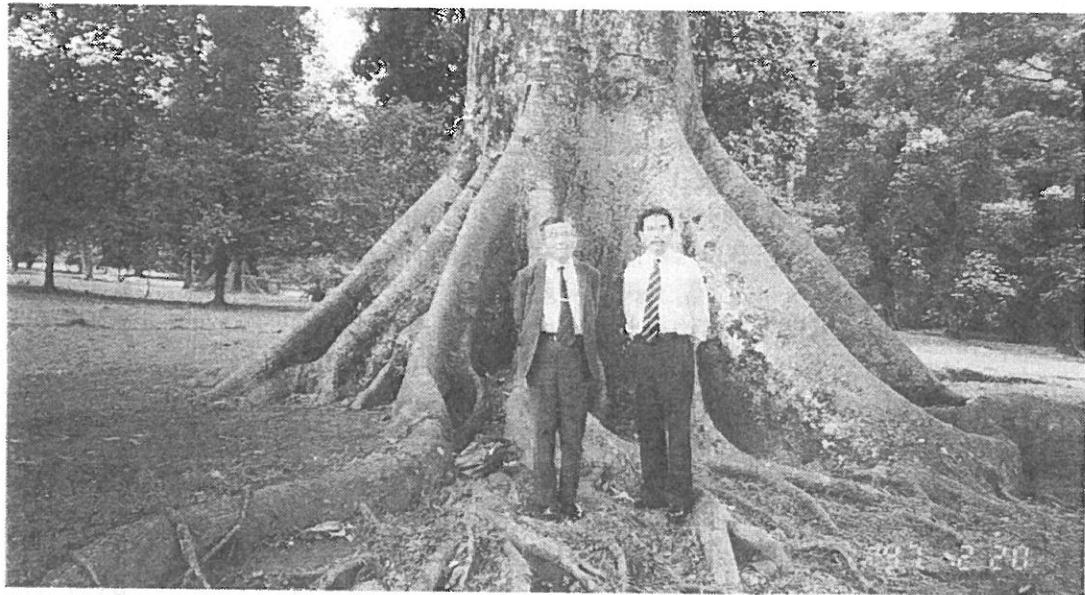
停電 大連のホテルでエレベーターに一人で乗っている時、停電で閉じ込められると言う目に会いました。真っ暗闇で待つこと20~30分、外にいたコ・パートナーの(㈱九州環境管理協会)の藤井正博氏が救出に努力してくれました。

教訓! 停電の恐れのある外地、特に言葉の不思議な土地では、コ・パートナーと一緒にエレベーターには乗らないこと。必ず一人は外にいて、万一の場合の救出に備えること。この出来事以降、私達はこれを実行しました。

食中毒 食中毒予防のため、大連・インドネシアに滞在の一ヶ月半の間、胃腸薬のS丸を毎朝飲み続けました。そのせいか、終わり頃には胃腸の調子が変になり、便秘と下痢の両極端の繰返しで、すっかり食欲がなくなりました。

後で推測すると、多分S丸の経常的な服用で、大腸菌等、腸内の有用な細菌を全部殺してしまったことが原因と思われます。

以上



内田氏とインドネシア＝ボゴール公園にて

会員ニュース

☆(社)日本技術士会(九州支部)入会

(地区)(区分)	(氏名)	(部門)		<連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ記入>
(上段:連絡先/下段:勤務先)				
福岡正頸 今門 益雄 建設	818	筑紫野市光ヶ丘 3-13-12 勤:パシフィックコンサルタント株 (092)885-5011/Fx(092)885-5003	(092)926-1277	
福岡" 納富希志夫 建設	819	福岡市西区野方 2-44-5 勤:(092)812-6632		
福岡" 御代川亨 建設	814	福岡市早良区室見 5-6-26-606 勤:(092)841-6575		
福岡" 櫛間 幸徳 建設	813	福岡市東区香椎駅前 3-27-1501 勤:日本交通技術(株) (093)551-2288/Fx(093)511-1594	(092)662-2466	
福岡" 今村晋作 林業	810	福岡市中央区小笹 2-7-28 勤:建設コンサルタント・ナガトモ (092)531-2994	(092)865-5770	
福岡" 佐野 収 建設	815	福岡市南区長住 1-9-7 勤:平和測量設計(株) (0942)45-7820/Fx(0942)45-8155	(092)511-6120	
福岡" 池田 康雄 応用理学	811-32	福岡県宗像郡福間町光陽台 4-3-6 勤:カミナガ (092)451-6221/Fx(092)451-4854	(0940)42-5421	
福岡" 讀井 友規 水産	814-01	福岡市城南区東油山 4-12-11 勤:日鉄プラント設計(株) (093)872-5454/Fx(093)882-7655	(092)861-3835	
北九州" 沼尻 健次 機械	807	北九州市八幡西区千代ヶ崎 1-10-5 勤:(093)602-0921		
宮崎" 染矢 聰 建設	898-21	宮崎市学園木花台南 1-4-9 勤:(有)延岡市街地開発 (0982)34-2411/Fx(0982)34-2527	(0985)58-6078	
福岡" 森 茂毅 建設	812	福岡市博多区美野島 2-1-39 20号 勤:大成エンジニアリング(株) (092)452-2771/Fx(092)452-2773	(010)878-6692	
大分" 瀬口宏由紀 建設	871	中津市東浜 768-6 勤:松本技術コンサルタント(株) (0979)23-3636/Fx(0979)23-4139	(0979)23-5955	
福岡" 丸野律志朗 農業	814	福岡市早良区飯倉 8-3-20 勤:技術開発コンサルタント (092)712-2518/Fx(092)714-6149	(092)861-7674	

☆日本技術士会（九州支部）入会（続き）

(地区)(区分)	(氏名)	(部門)	(上段:連絡先/下段:勤務先)	
福岡 "	久間 俊明	建設	816 大野城市錦町 4-6-9 勤:株建設技術研究所	☎(092)574-5238 ☎(092)714-2211/Fx(092)714-4814
長崎 "	本田 圭助	機械	850 長崎市西山本町 9-38 勤:(有)マツオアンドパートナーズ技術士事務所	☎(0958)28-0783 ☎(0958)28-2810/Fx(0958)28-0771
宮崎 鞍頸 小永吉秀男		建設	889-17 宮崎県宮崎郡田野町乙 7738-6 勤:株田村産業	☎(0985)86-2369 ☎(0985)51-2212
大分 正頸 武田 隆	応用理学	870 大分市大道町 5-4-6-502 勤:大分大学工学部応用化学科(搬)	☎(0975)54-7903/Fx(0975)54-7890	☎(0975)46-2336
福岡 "	清水 博和	建設	813 福岡市東区名島 4-36-13 勤:(有)アジア建設コンサルタント	☎(092)681-0625 ☎(092)521-5931/Fx(092)524-0103
福岡 "	上村 俊英	建設	814-01 福岡市城南区南片江 4-4-23 勤:株建設技術研究所福岡支店	☎(092)873-9768 ☎(092)714-2211
福岡 "	石本 俊亮	建設	810 福岡市中央区六本松 3-11-33-702 勤:株建設技術研究所福岡支店	☎(092)712-1396 ☎(092)714-2211

☆日本技術士会（九州支部）退会

北九州 歯科 大石 雅也 建設 平成9年1月12日逝去

福岡”森下明憲電機・電子

☆九州地方技術士センター入会

(地区)(姓)	(氏名)	(部門)	(上段:連絡先/下段:勤務先)
福岡正嶺	武谷 勝敏	金属	837 大牟田市草木 923 勤:(株)ヤマサキ ☎(0944)58-1366/Fx(0944)58-5334
福岡 "	織戸 邑俊	建設	810 福岡市中央区警固 1-4-26-701 勤:(株)技術開発コンサルタント ☎(092)712-2518/Fx(092)714-6149
福岡 "	大江 豊	建設	818-01 太宰府市宰府 4-11-12-602 勤:(株)構造技術センター ☎(092)471-1655/Fx(092)481-0318
福岡 "	国府寺直規	建設	811-32 福岡県宗像郡福間町花見が丘 1-3-12-702 ☎(0940)42-6429 ☎(092)662-2365
福岡 "	佐竹 正行	建設	813 福岡市東区香椎 6-26-1 ☎(092)662-2277
福岡 "	堀口 潔	建設	813 福岡市東区香椎浜 1-1-2-502 勤:(株)構造技術センター ☎(092)471-1655/Fx(092)481-0318
福岡 "	森 喜男	建設	811-32 福岡県宗像郡福間町若木台 6-16-16 ☎(0940)43-4131 勤:建設サービス(株) ☎(092)481-0512/Fx(092)475-5891
福岡 "	永嶋 洋政	建設	814 福岡市南区柏原 6-62-2-503 勤:日本地研(株) ☎(092)571-2764/Fx(092)571-2813
福岡 "	杉本 正二	建設	811-32 福岡県宗像郡福間町光陽台 2-22-2 ☎(0940)42-5360 勤:福岡県土木部 ☎(092)651-1111
福岡 "	田村 陽右	衛生工学	811-32 福岡県宗像郡福間町若木台 6-13-15 ☎(0940)42-6110 勤:(株)創建 ☎(0955)74-5118/Fx(0955)74-5113
宮崎 "	新村 和規	建設	880 宮崎市高洲町 14-6 ハーバービュー 501号 ☎(0985)26-7659 勤:(株)ジオセンター ☎(0985)48-5050/Fx(0985)48-3948
福岡 "	井崎 孝行	農業	814-01 福岡市城南区田島 4-26-3-505 ☎(092)864-9792 勤:アーティス技術コンサルタント ☎(092)582-3331/Fx(092)582-3333

☆九州地方技術士センター退会
北九州 稲田高 武彦 建設

長崎〃重信 純 建設

福岡〃安部 龍雄 建設

☆会員連絡先(住所)および勤務先変更

(地区) (氏名) (部門) (仮) (連:連絡先/勤:勤務先) [連絡先と勤務先が異なる県]
北九州 安西 敏雄 金属 連: 806 北九州市八幡西区藤田 2-3-2 ☎/Fx(093)642-7698
勤:(株)高田工業所技術部職員グループ (093)742-3371/Fx(093)742-3372
熊本 高須賀俊一 農業 連: 862 熊本市長嶺南 7-2-24-18

福岡 斎田 護 建設 連: 811-02 福岡市東区美和台 6-3-14

鹿児島 村岡 公範 建設 連: 895-14 鹿児島県入来町浦之名字松山迫523-30 ☎(0996)44-5318

北九州 泉館 昭雄 電気・電子 勤: 泉館技術士事務所 ☎/Fx(0940)33-4566

大分 日野 健次 建設、水道 勤: 九州建設コンサルタント(株)熊本支店 [熊本市江津1-744-1]

☎(096)370-2666/Fx(096)370-0737

鹿児島 四元 節夫 農業 勤(社名変更):(株)サタコンサルタンツ

北九州 大久保裕文 建設 連: 802 北九州市小倉北区上富野 4-7-17-1001

福岡 甲斐 忠義 建設 勤:(株)テクノコンサルタント[大分市海原700] ☎(0975)77-5111

福岡 松下 幸正 建設 連: 811-22 福岡県粕屋郡志免町桜丘 2-12-3 ☎(092)935-1946

福岡 古賀 義徳 建設 勤: 三菱重工業(株)九州支店 ☎(092)441-3865/Fx(092)451-1896

福岡 下村 昭博 水道 勤: 片角産業(株)[出水市平和町483]

☎(0996)62-1374/Fx(0996)63-0221

熊本 片岡 鉄藏 林業 勤:(株)和 調査設計 ☎(096)380-2188/Fx(096)380-2280

宮崎 渕上 健次 電気・電子 連: 880 宮崎市下北方町下郷 6005-5 ☎(0985)26-4176
勤:(株)九電工宮崎支店工務課 ☎(0985)26-9853

鹿児島 本田 信孝 建設 連: 895 川内市平佐町 4481-2

☆会員連絡先(住所)および勤務先変更(続き)

(地区) (氏名) (部門) (区分) (連:連絡先/勤:勤務先) [連絡先と勤務先が異なる県]
福岡 本田 貴裕 応用理学 勤:(有)セスコンサルタント ☎(092)672-0374/Fx(092)672-0379

福岡 恒松 道信 建設 連: 819 福岡市西区野方 3-7-7 ☎(092)811-3399

福岡 高橋 宏之 建設 連: 814 福岡市早良区次郎丸 3-24-5-503
勤:飛島建設㈱九州支店土木部 ☎(092)771-3565

福岡 横山 健治 建設 勤:新日本開発工業㈱九州事務局 ☎(092)471-7105/Fx(092)471-7051

—受付順、敬称略—<会員ニュース終わり>

◇会誌“技術士”最近号の主要項目

☆平成9年4月号

・卷頭言

- 名古屋圏のモノづくり産業振興策
／西尾 武嬉
- ・技術士会のよりよき
　一步前進を目指して／松並 壮
- ・地下空間の利用の歴史と現状
／粕谷 太郎
- ・水産増殖への新技術の展開／遊佐 多津雄
- ・'96上海科学技術論壇に参加して
／山田 俊満

☆5月号

- ・卷頭言
　技術士に期待すること／坂本 弘道
- ・中国における技術士業務の報告
／青木 司
- ・画像診断機器の動向／石崎 賢二
- ・帝国海軍と数学 *／田中 積治
- ・地方からの一言 *／斎藤 清美
(注: *支部会員)

☆6月号

- ・卷頭言
　技術士会の発展を望んで／鈴木 清
- ・技術移転について／海崎 瑛藏
- ・限定水域における魚類生息数
　推定について／新井 健次
- ・昨今インターネット雑感／井上 勇偉
- ・コンピュータにおける2000年問題とは
／中筋 英治

★投稿募集★

技術研究論文・技術士の主張・贊助会
員会社の紹介など、技術的なことは勿論
会員の受賞などのニュースもお願いしま
す。積極的な皆さんの投稿をお待ちして
おります。(20字×10行=200字詰め原稿用紙
2~3枚程度<用紙は事務局備付け>)を目
安に、支部事務局宛にご送付下さい。

編集後記

梅雨に入り鬱陶しい日が続きます。野村証
券や一銀問題など天候を暗示するような不愉快
なことが多い世の中、季節の花「紫陽花」は
色の七変化で目を楽しませてくれます。学名
Hydrangea(ヒドランジア)で、ギリシャ語で「水の器」
だそうです。地中海の青空の下では「紫陽花」
も余りぴったり来ない気がしますが、ギリシャ
にも雨季があるのでしょうか。

九州支部も6月より新しい執行部になりました。
“技術士だより”も心機一転、皆さん
のお役に立つ紙面にしたいと願っています。

発行: (社)日本技術士会・九州支部

九州地方技術士センター

〒810 福岡市中央区大名1丁目

12-61 新天ビル 402

☎ (092)771-9534

FAX(092)731-8274